

高山西ロータリークラブ 創立1966年1月15日

# 例会報告 Rotary



奉仕しよう  
みんなの人生を  
豊かにするために

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 鴻野 幸泰
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 向井 公規
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 田邊 淳

第2664回例会 令和4年4月22日  
地区研修協議会報告

## <会長の時間>

来週の金曜日は、4月29日祝日で昭和の日です、いよいよ大型連休が始まります。

4月29日は、昭和の時は、天皇誕生日で、以前はこの日に中央競馬会のお天賞レースがおこなわれていました。日本の中央競馬場は、北海道から九州まで10場あります、北から札幌、函館、福島、新潟、中山、東京、中京、京都、阪神、小倉です。

私自身は、馬券を買うよりも競馬場に行くことが目的で日本の競馬場をすべて回って来たいと思っています。競馬場の大きさは、それぞれですが10万人以上入場できる所あれば、3万人くらいしか入場できない所もあります。風景もさまざま都会の真ん中又は、山に囲まれた所そして海に近い場所などです。

ロータリークラブは、日本国内そして世界中至る所にあります。5月の中旬には、私と漢字の向井さんと東京の紀尾井町ロータリークラブにメイキャップに行ってきます。会員の皆さんも一緒に行きませんか？

会長の任期もあと2ヵ月です、会長を卒業しましたらこんどは、日本国内のロータリークラブめぐりをしてみたいと思っています。



## <出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
28名	-	28名	34名	82.35%

## <本日のプログラム> 地区研修協議会報告

垣内 秀文

先週4/16土曜日に次期部門長、委員長9名で地区研修協議会へバスの中では感染対策の為、ソフトドリンクのみと騒がず清く正しく美しくロータリアンらしく行ってまいりました。

コロナ禍の影響もあり2年ぶりでの対面式の開催で高橋ガバナーの熱意が十分に伝わる素晴らしい協議会であったことをまずは報告させていただきます。後に3名の方から協議会の報告をしていただきますので、私からは次年度に向けての進捗報告また計画について大まかにではありますが報告させていただきます。

皆さんご周知のように次期は財団事業の計画開催を断念させていただきました。我がクラブは現在会員34名と会員数もかつてより減少しております、大掛かりな財団プロジェクトを計画実行するにはマンパワーの不足等様々な壁があることは、会員皆様ご周知のとおりだと思います。そこで次年度はクラブ内活性化を重点に絞りコロナ禍も手強い例会及び自粛傾向で会員相互の交流が希薄な状況になっている状況を打開するため、クラブの在り方・運営の方向性を見定め親睦を基礎に自己研鑽を重ねていくことを目指します、そのようなクラブであればこそ必然と地域に必要とされるロータリーと認識されると信じております。

CLPで新たに組織した部門及び委員会を十分に機能させるために部門長会議を行いました、内容としましては部門長方々の傘下の委員会を効率よく機能させるために事業計画及び進捗状況の現状把握と管理運営をしていただくことを確認させていただきました。又部門会議として部門長が中心となり、各委員長が策案する事業計画及び進捗状況をサポートしていただくようお願いしております。

昨日も田邊次期クラブ運営部門長の仕切りで部門会議が行われ、同時に懇親深めさせていただいたところです。今後の予定では遠藤さん会員増強部門の会議が4/25にそして伊藤さんの奉仕部門の打ち合わせも着々と進み5月中旬には事業計画が出そう予定です、どうぞ会員の皆様引き続きよろしくお願いいたします。



## <幹事報告>

### ◎ガバナーエレクトより

- ・2022年 地区研修協議会 修了証書 垣内 秀文さんへ

### ◎濃飛グループガバナー補佐より

- ・濃飛グループ会長幹事懇談会中止、および最終訪問日程について
- 6月3日(金)10分程度の
- お時間を頂きます様お願い致します



## <例会変更>

高山中央 … 4月23日(月)、5月2日(月)は、定款により休会  
5月23日(月)は、新緑例会のため  
18:30~ 山陣 に変更  
5月30日(月)は、定款により休会

## <受贈誌>

高山RC(会報)、下呂RC(会報)、米山記念奨学会(ハイライトよねやま265)、飛騨高山国際協会(令和4年度総会資料)

# 例会報告

田邊 淳

【開会セッション】高橋ガバナーエレクト … 会員増強が今後の要である、増強とは「会員を増やすこと」は勿論、ロータリアンの 質を高めることである。

【分科会、「公共イメージ分科会」】

- ・「公共イメージ」は出来てから4年目の新しい委員会である。ロータリーの公共イメージアップ」を目的としており。規則11条7節に、クラブが設置すべき委員会が6つ記載あり。「公共イメージ」もその1つである。クラブによっては「広報」や「雑誌」などの名称もあるが、ルール上は「公共イメージ」としたい。
- ・「公共＝外部」への情報発信の推進を計る、その為「Facebook」の運用を進める
- ・クラブホームページもメンバー向けの情報が多い、対外的な情報発信となるホームページを考える
- ・既存メディア（新聞、雑誌、TVなど）は減少傾向、代わってインターネット（特にSNS）が情報発信ツールとしては有効である。
- ・YOUTUBEチャンネル
- ・マイロータリーへ必ず登録をしてほしい。

【夜懇親会】

野尻さんからの「ワイン講習」があり盛り上がった。



杉山 和宏

先週参加しました地区研修会の報告をさせていただきます。次年度、社会奉仕委員長を拝命しましたので、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会を擁する奉仕プロジェクト部門の分科会に参加させていただきました。

まず、地区の社会奉仕委員会においては「社会奉仕は地域社会に軸足を」をスローガンに、目的として

1. 公德心・愛郷心を育て、水準を高める社会教育活動
  2. 地域の環境を守り、改善を促す環境保全活動
  3. 青少年に芸術・地域文化の経験の機会を付与
  4. 要援助高齢者・障がい者・青少年への支援
  5. 新たな奉仕プロジェクトを創出
  6. 奉仕活動の活性化を目指し、出張卓話の推進
- を掲げています。また、行動計画としては

1. 訪問卓話の実施
2. プロジェクトの地区ホームページ掲載
3. 植樹・乗用車のアンケート実施
4. 新たな奉仕プロジェクトの創成推進

ということで、コロナ禍で縮小してきた活動を、従来通りに戻したい意向でした。

次年度、高山西クラブは地区補助金プロジェクトを実施しない方針ですが、皆さんご存じの通り、少ない投資で、大きな予算を使った事業を実施できると推奨しています。配布資料の2021年度実施リストには、西クラブのハンドボール講習体験会がありましたが、2019年に能登で開催した「防災と自然にふれる体験学習交流会」も地区補助金事業となります。

事例発表が3つある中で興味深かったのは、岐阜加納ロータリークラブでした。岐阜市南部の加納には「加納城」がありますが、これは関ヶ原の戦いで徳川陣営が勝利したことで、破棄された岐阜城の代わりとして築城されたそうです。また、中山道53番目の宿場町として栄えた地域でもあるそうです。この加納地域の歴史、文化を継承するために「中山道加納宿まちづくり交流センター」が2020年10月に岐阜市の施設として新築されたのですが、そこに展示する加納城のジオラマ、特産の和傘の展示品、館内で上映する紹介動画などを製作するといったプロジェクトの事例でした。

このプロジェクトが動き出したのはコロナ禍で世の中が止まった2020年5月。もちろんそれ以前から計画していたとは思いますが、施設の完成に合わせるには相当な苦労があったと想像できません。まず、プロに頼むと1000万円以上かかるといわれたジオラマは、地元の鶯谷中学・高校の地理歴史サークルや岐阜大学教授の協力を得て手作りすることで、55万円で抑えることができた上、地域の方により親しみを持っていただけたということです。施設の完成時は70%程度の出来だったそうですが、生徒が日々手を加えており、今もグレードアップし続けているそうです。地域の学校の見学授業でも使われ人気を博しているということです。

また、足らない資金の捻出のためにクラウドファンディングを活用したところ、新聞等のメディアに取り上げられたことで、ロータリークラブのPRができた上に、地域の企業から協賛金や返礼品の提供の申し出が相次いだそうです。事業を進める中で自然と協力の輪が広がっていったことに驚きと、このプロジェクトがどれだけ地域に必要とされたものなのか感じることができました。結果、クラブからの拠出金70万円、地区補助金128万円、クラウドファンディング120万円、企業等からの支援金160万円と総額480万円となる一大事業となりました。ロータリーが発案し、行政、地域、学校、企業など多くの人を巻き込んで作り上げるのはかなり大変でしょうが、それだけ多くの人に認められた事業であると言えますので、やりがいのあった事業だと思います。

一方、国際奉仕委員会は、海外への「奉仕」を目指すもので、世界社会奉仕WCS補助金を活用した奉仕活動に対し、申請から実施、資金まで支援しています。

こちらの事例発表は、タイ・バンコクの病院へ新生児用人工呼吸器や電動ベッドの提供、医療関係者への研修トレーニングの提供といった内容でした。美濃加茂や熊野などの6RCと、2630地区、3330地区との共同プロジェクトで、予算\$69,900＝約780万円となるこちらもおおきな事業でした。6RCからの現金拠出は\$6,000であり、2630地区から\$25,500、タイの3350地区から\$10,000、国際ロータリーから上乗せで\$28,400と、補助金が90%占めていました。コロナ禍の制約が大きい中でこの事業であり、打ち合わせや引き渡しもリモートで実施されていました。

社会奉仕、国際奉仕のいずれの事例もコロナ禍であり、普段の活動すら満足にできない状況下でしたが、できることを考え実行されたということに感銘を受けました。また、奉仕自体が、「みんなのためになるかどうか」は最重要課題であり、こちらの独り善がりな計画とならないよう注意しなければいけないとも感じました。

次年度、社会奉仕委員会の運営にあたり、参考にしていきたいと思っています。





# 例会報告

内田 幸洋

私の参加しました米山記念奨学会分科会の内容についてご報告します。2022年4or5月から23年4月まで、全国で847名の米山奨学生が決定しています。当地区は21名、内訳は中国6、ネパール4、内モンゴル3、インドネシア2、ベトナム3、ミャンマー1、カンボジア1、スリランカ1となっています。全体の予算は14億4千万円、当地区は3,600万円です。この事業は全国で今年までに129カ国22,267名の留学生に奨学金を支給。以前は苦学生対象だったのですが、現在は優秀な学生を対象としています。



◎賀寿

傘希 岡田 賛三

※新年例会ご欠席にて延期となっていた傘寿のお祝いをこの度お渡ししました。



## <ニコニコボックス>

●鴻野 幸泰さん、向井 公規さん

・14、15日は、雨による縮小はございましたが、無事高山祭が例年通りの流れで開催されました。少しずつ日常が戻りつつあることに嬉しさを感じます。

・本日は地区協議会報告です。会長エレクト垣内さん、報告者の内田さん田邊さん杉山さん、よろしくお願いします。

●会長エレクト垣内秀文さん、副幹事 大村 貴之さん

4/16地区協議会参加の皆様、お疲れ様でした。いよいよ次年度の準備がスタートしましたので次期委員長の皆様方は引き続き事業計画をよろしくお願いします。本日地区協議会の報告を内田さん、田邊さん、杉山さんお願いします。

●内田 幸洋さん

地区協に参加させていただきました。とても充実した一日でした。垣内エレクト大村副幹事には大変お世話になりました。

●古橋 直彦さん

16日、地区協議会に参加しました。久しぶりの地区協でしたが、協議会の前に研修が入り、研修・協議会の名称と変わり地区方針の説明より研修にウエイトをおいた内容でした。

●田邊 淳さん

今年4月から長女は無事大学を卒業し、新社会人となりました。勤務先である東京で一人暮らし。何かと心配も多いですが、頑張っているようです。4月から社会人となった皆さん、コロナに負けず頑張ってください。

●向井 公規さん

先程家内より連絡があり、誕生日のお花を頂きました。ありがとうございました。

●挾土 貞吉さん、伊藤 松寿さん、米澤 久二さん、遠藤 隆浩さん、門前 庄次郎さん、堺 和信さん、下屋 勝比古さん、杉山 和宏さん、中島 一成さん、堀 幸一郎さん

「脚下照顧」人に愛を、世界平和求めニコニコへ。独裁、利己主義、許せません。我が日本、国家国民平和ボケしていませんか？今こそ人類の歴史を知り、心のタガを締め直しましょう。明るい社会、西クラブ運営を求め、今日の地区協議会の発表を聞くのが楽しみです。



## 3. 地区スローガン

「ロータリーの心と原点」を大切に  
描こう明るい未来を

「ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る」

